

# ひよこ通信

ひよこの会会報 令和2年12月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)  
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81  
電話 & Fax 047-450-9144  
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

## ◇八千代市長宛要望書の提出

今年の「ひよこの会総会」は書面で、その後も皆が集まる機会を避けたので、要望書の意見集約に時を要し、提出時期が年末になってしまいました。  
会員の日頃の願いをまとめたものであり、一步でも二歩でも実現に向かってほしいものです。

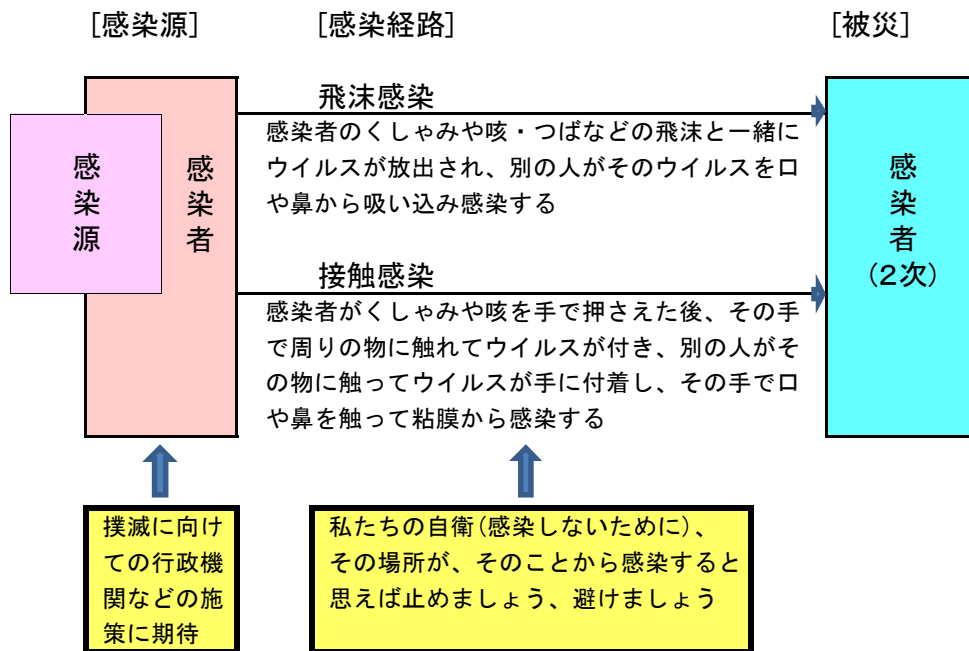
## ◇コロナ禍を抜けて、普通の生活への道

☆新型コロナウイルスの特徴

- ・インフルエンザに比べても潜伏期間が長い(1-14日、平均5.6日)
- ・無症状でも感染力が高い
- ・まだ確立された治療薬が無い
- ・ワクチンの接種時期は数か月以降になる見込み

☆まずは感染しないこと

- ・どこから感染するのか、わかりにくい。感染経路を今一度考えてみましょう。



## ◇もし感染してしまって、別の人にうつさないために

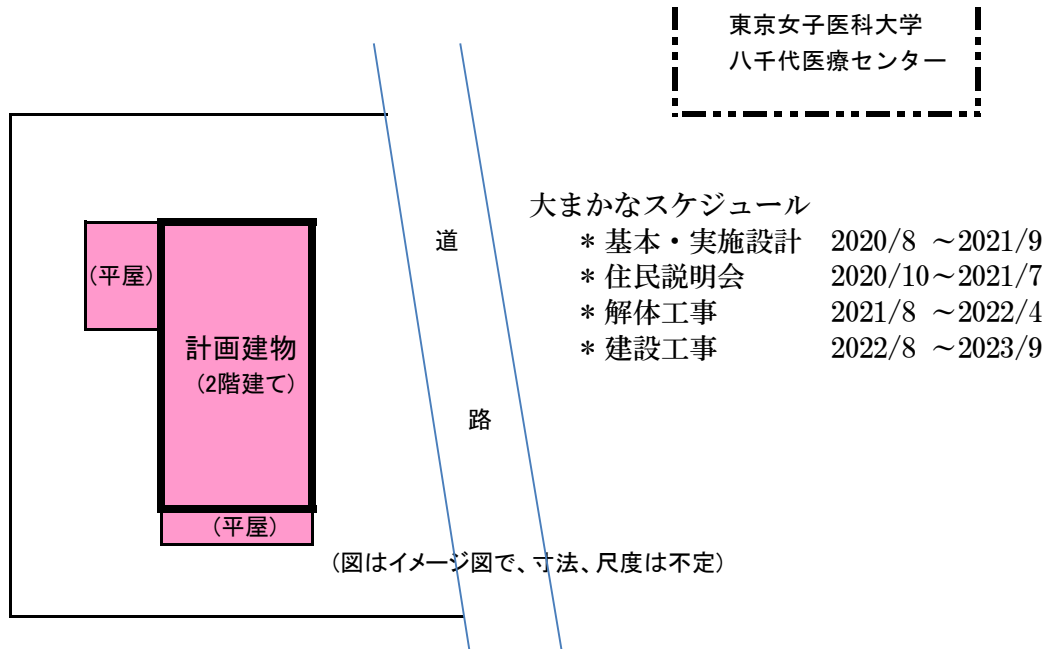
仕事上も、そのほかの日常でも、知らないうちに感染してしまうリスクがあります。なにしろ感染しても発症までの潜伏期間が長く、しかもこの段階での感染力が高いことがわかっています。

学校とか障害児者施設などでは、感染リスク回避手段の一つとして、職員が外部から感染源を持たないよう、定期的にPCR検査を実施する体制をつくってほしい、と「要望書」の中でも要請したところ です。

事は緊急を要します。NPO法人にじと風福社会では、独自措置として施設職員の全員が定期的にPCR検査をすることとし、やっと12/15(火)に最初の検体採取に漕ぎつけることができました。その結果は、幸いなことに全員陰性でした。

◇八千代市の「児童発達支援センター」の移転について

児童発達支援センターの有り様については、「要望書」の中で会員からの要望を込めています。  
 老朽化が進んでいる現在の児童発達支援センター(米本)の建替え計画について、住民説明会が行われ、入れ物の中身が見えてきました。  
 現在基本設計の途中だそうで、大まかなスケジュールは下記の通りです。  
 場所は、旧千葉県教職員住宅の跡地で、東京女子医科大学八千代医療センターの近くです。



◇にじと風保護者会の報告

日時 : 12/12(土)、10:00-11:00  
 形式 : WEB会議

参加者: 上野和美、清水和美、伊藤麻紀、白柳都、笠川智子、塩入麻美、吉野真里子

- ☆今年度、4月以降の活動を振り返った。
- ☆来年度の活動に向けて、今後準備をして、3月の保護者会で検討する。
- ☆茶話会は今後とも継続して実施する。
- ☆にじと風から、コロナ感染に関連して、利用者・その家族に繋がる状況、施設職員の受診に関する事、施設運営に関する事、報酬改定による影響などについて報告があった。

◇12月度の収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	担当
1	10/21(水)~12/**(*)	きょうされん販売(冬) *	(精算中)	
2	11/7(土)、9:30-10:00	資源回収	2,850	荒木賢太/大野晃
3	12/6(日)	市役所フリマ(運営・販売)	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)

\*注文商品のお届け済、報告は来月までお待ちください

これからの予定

- ・12/29(火) にじと風、施設一斉整備
- ・1/4(月) にじと風仕事始め
- ・1/9(土)、9:30-10:00 資源回収
- ・1/10(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール)⇒中止
- ・1/中旬 きょうされん販売(バレンタインチョコ)活動がスタートします

◇編集後記

間もなく令和2年が終わります。コロナ禍は終わりません。  
 感染源さえ無くなれば、大声を出すことも歌うことも、陽を浴びて遊び回ることができます。  
 来年は、そんなことができる普通の生活になりたいと思います。(吉野康生記)